



社団法人 地域環境資源センター（旧・農村環境整備センター）

## 平成 23 年度「田んぼの学校」指導者養成研修

### （山形県河北町）参加者募集のご案内

平成 23 年 7 月 22 日（金）～23 日（土）  
山形県河北町元泉地区で開催します！

この研修では、農村地域の自然や農業環境などの地域の資源を活用した環境教育・体験活動などに関わる地域リーダー・指導者に必要な知識や技術について学ぶことができます。

今回の研修では、山形県河北町元泉地区をフィールドとして、地元の生き物保全や環境教育などの活動を紹介しながら、地域における取組みの効果的な活動展開のための技術や方策を学びます。

「農地・水保全管理支払交付金（旧農地・水・環境保全向上対策）」  
「食と地域の交流促進対策交付金」

などの効果的な活動展開にお役立てください！！



写真：河北町元泉地区での「めだかの学校」の様子（提供：元泉地区保全会）

～ 農業農村整備分野、自然体験活動分野等との連携 ～

●農業農村工学会技術者継続教育機構

本研修は、農業農村工学会技術者継続教育機構の認定プログラムに申請中です。本研修のCPDは、ポイントとなる見込みです。

●自然体験活動推進協議会（CONE）

本研修は、CONE農林漁業リーダー養成事業の認定申請中です。本研修修了者のうち、希望される方（ただし農林業経験者）は、CONE農林漁業リーダーとしてCONEに登録できることになる見込みです。

●「農地・水保全管理支払交付金」「食と地域の交流促進対策交付金」

本研修の参加にかかる費用の一部については、研修参加費用として認められています。

1. 目的：

農業・農村を遊びと学びの場として活用する体験活動等を実施する際の基礎的な知識や技術に係る講義や実習を通じて、活動を実施する際の一般的な手順や留意すべき点を理解し、実施に係ることができる人材を養成することをねらいとしています。

2. 主催：社団法人 地域環境資源センター 共催：河北町、元泉地区保全会

3. 開催日：平成 23 年 7 月 22 日（金） 13 時 00 分 集合（14 時開始）  
23 日（土） 15 時 30 分 終了〈1 泊 2 日〉

※公共交通機関でお越しの方は「JR 新幹線さくらんぼ東根駅」から送迎バスをご利用ください。  
帰りは実施研修場所から JR 新幹線 さくらんぼ東根駅まで車でお送りします。

4. 会場：集合場所／宿泊・・・べに花温泉ひなの宿（河北町谷地字下野 269）  
研修・実施・・・畑中集落センター、元泉地区地内



5. 対象者：

農村地域での体験活動の指導等を通して、地域の活性化や資源保全にかかわっている方。

※ 特に、農業・農村を遊びと学びの場として活用する環境教育「田んぼの学校」や「農地・水保管理支払交付金」「食と地域の交流促進対策交付金」等にかかわる方々にぜひご参加いただきたいと考えています。



6. 定 員：30名（最小催行人員15名）

7. 参加費：参加負担金として5,300円（保険料含む）（銀行振り込み）

また、参加負担金とは別に、以下の通りの宿泊・食事代など、計9,000円程度が必要となる予定です（現在調整中であります）。

（1）宿 泊 費：4,500円（1泊、2日目朝食）（当日支払）

（2）食 事：2,000円程度（1日目夕食、2日目昼食）（当日支払）

（3）交流会費：2,500円程度（飲み物、おつまみ）（当日支払）

- \* 受講料の納入は指定の銀行口座への振込のみとさせていただきます。予めご了承ください。
- \* 食事、交流会費については調整中であります。
- \* また、宿泊費、食事代は各自精算していただきます。宿泊施設より宿泊費（1泊、朝食分）、の内訳を示した領収書が発行されます。
- \* 交流会費は当日集金させていただきます。あらかじめご了承ください。

8. 申込み・問合せ：

所定の申込用紙に必要事項を記入いただき、FAXまたはメールにて以下の宛先にお送りください。7月15日（金）18：00を締切りといたします。

社団法人 地域環境資源センター 農村環境部 調整班 宛

【FAX宛先】 03-5425-2466

【メール宛先】 tanbogk@jarus.or.jp

申込用紙は、田んぼの学校のホームページからもダウンロードできます。

お問い合わせは、社団法人地域環境資源センター 農村環境部 調整班（担当：藤田）までお願いいたします。

住所 〒105-0004 東京都港区新橋5-34-4 農業土木会館1F

TEL 03-5425-2461

HP（田んぼの学校）：<http://www.tanbonogakko.net/index.php>

9. 申込の受理および受講決定：

お申し込みは、先着順に受理します。

最少催行人数に達せず中止となる場合は、7月18日（月）にご連絡させていただきます。

#### 協力団体および講師のご紹介

##### ◇ 協力団体：元泉地区保全会

農地・水保管理支払交付金を実施し、地元自治会と連携しながら「環境整備構想」「めだかの学校」「都市農村交流」など農業農村の多様な機能を活用した多様な取り組みを実践している。

##### ◇ 講師：外部講師（未定）

北澤大佑・守山拓弥・山崎幸恵（社団法人 地域環境資源センター）

## カリキュラム

- \* これまで、自然体験活動等の指導経験がない、あるいは、少ない方を対象としたカリキュラムとしています。研修運営もこのような点から十分に配慮いたしますので、自然体験活動や、体験型の研修に不慣れな方も安心してご参加ください。
- \* 屋外での実習もありますので、動きやすい服装でご参加ください。また、雨天でも基本的に屋外には出ますので、雨具（セパレート型のレインウェア等）もご準備ください。

### 【1日目：7月22日（金）】

時間	所要	講義・実習	概要
13:00		集合、受付(べに花温泉ひなの宿)	
14:00	30分	開会(挨拶、趣旨説明、スタッフ紹介等)、オリエンテーション	
14:30～15:00	30分	緊張をときほぐそう	・ アイスブレイク
15:00～16:30	90分	農業・農村における多面的機能とその活用を理解しよう	・ 自然体験活動とその理念 ・ 田んぼの学校(環境教育)、景観・生態系を通じた地域活動
16:30～18:00	90分	地域の資源を見直してみよう	・ 自然の理解 ・ 地域資源って何？ ・ 元泉地区の取組み紹介、フィールド視察 ・ 参加者の地元自慢、活動自慢
18:00～20:00		夕食／情報交換会	

### 【2日目：7月23日（土）】

時間	所要	講義・実習	概要
9:00～10:00	60分	安全管理を理解しよう	・ 安全管理の考え方 ・ 生き物調査での安全管理 ・ 直営施工での安全管理
10:00～12:00	120分	環境教育プログラムを体験しよう	・ 元泉地区のめだかの学校に参加
12:00～13:00		昼食	
13:00～14:00	90分	環境教育プログラムを理解しよう	・ プログラム構成の基礎 ・ 田んぼの学校フィールドノート ・ 元泉地区での環境教育プログラム
14:00～15:00	60分	環境教育プログラムを考えてみよう	・ 地元自慢を活かしたプログラムの考案 ・ プログラムの講評
15:00～15:30	30分	まとめとふりかえり	・ 2日間の体験で学んだ内容について整理
15:30		終了・解散	

- \* 各講義、実習の間で適宜休憩をとります。
- \* 効果的な研修となるようカリキュラムを変更することがあります。予めご了承ください。